

(別紙8)

【認知症対応型共同生活介護用】

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年2月21日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0171401797		
法人名	医療法人社団 向仁会		
事業所名	グループホーム よろこびの家 住慶		
所在地	北海道函館市谷地頭町31番8号 (電話) 0138-24-0808		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年2月19日	評価確定日	平成21年3月9日

## 【情報提供票より】(平成20年12月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)18年3月24日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 16人, 非常勤 人, 常勤換算 12人	

### (2) 建物概要

建物構造	木造モルタル2階 造り		
	2階建ての 1~2階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	43,000 円	その他の経費(月額)	20,000~30,000 円
敷金	有(円) 無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	350 円	昼食 400 円
	夕食	400 円	おやつ 180 円
	または1日当たり 1,330 円		

### (4) 利用者の概要(12月1日現在)

利用者人数	18 名	男性 10 名	女性 8 名
要介護1	8 名	要介護2	4 名
要介護3	1 名	要介護4	4 名
要介護5	1 名	要支援2	
年齢	平均 85 歳	最低 71 歳	最高 97 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	住慶クリニック・函館中央病院・さこ歯科クリニック 函館協会病院・藤岡眼科病院
---------	---

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

谷地頭温泉、立待岬が近く母体の住慶クリニックが隣接する交通の利便性と閑静な住宅街にあるグループホームです。また、ベランダからは、芝生の庭があり津軽海峡が望め日光浴やコーヒーなど楽しめる工夫がされています。職員の離職も殆ど無く、本人が安心して日常生活を送れるように馴染みの関係も築かれていると共に職員の研修や資格取得の意欲も高く、研修係が設けられてホーム内での研修会が継続的に実施されケアサービスの質の向上に取り組んでいます。町内会や地域の民生委員と協力して、SOSネットワークで近隣住民との協力体制の呼びかけや地域への認知症に対する理解や広報に努めています。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、同業者との交流や研修会開催が改善点として挙げられていましたが、グループホーム協議会やブロックでの研修会参加や親睦会開催を通じて情報交換やネットワークを作りケアサービスの質の向上に取り組んでいます。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は全ての職員が参加して意見交換されて、新たな気づきや改善の機会として利用されています。また、外部評価の結果については全体会議で話し合わせ、運営推進会議に報告されて家族にも報告されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、2ヶ月毎に定期的開催され、主な議題は 地域との協力体制構築について 町内会とのSOSネットワーク体制づくりについて 昼間と夜間の地域の協力体制について(民生委員より) インフルエンザ予防について(包括支援センターより) 委員との意見交換
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 玄関に職員の顔写真付の紹介が掲示され、家族や来訪者に分かりやすいような取り組みが実践されています。また、家族の来訪時には、健康状態や要望、不安な点など話し合わせ運営に反映されています。家族や来訪者が意見・苦情など言い表せるように意見箱を設置し、苦情受付担当者も明示されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) ホームの広報誌「よろこび新聞」を定期的に発行し、ホーム主催行事参加の様子や敬老会、紅葉狩りや四季の杜公園散策など日常生活の様子等町内会にも配布して地域に理解される活動を実践しています。また、七夕祭りや餅つきなどで地域の子供たちとの交流や託児所の子供たちの訪問、町内会の資源回収行事の参加、ボランティアの受け入れなど連携に努めています。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、ホーム独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、朝礼で唱和して理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホームの広報誌「よろこび新聞」を定期的に発行し、敬老会、紅葉狩りや四季の杜公園散策など日常生活の様子等町内会にも配布して地域に理解される活動を実践している。また、七夕祭りや餅つきなどで地域の子供たちとの交流や託児所の子供たちの訪問、ボランティアの受け入れなど連携に努めている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は全ての職員が参加して意見交換されて、新たな気づきや改善の機会として利用されています。また、外部評価の結果については全体会議で話し合わせ、運営推進会議に報告されて家族にも報告されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、2ヶ月毎に定期的開催されている。委員は、利用者家族、町内会役員、包括支援センター職員、函館市職員、民生委員、及び管理者・職員で構成され具体的な活動に取り組んでいる。		
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議以外にも、保健所や包括支援センターの研修会参加などでサービスの質の向上に取り組んでいる。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	金銭管理は、毎月の請求書送付の際に、金銭の収支の明細を送付すると共に定期的に発行している「よろこび新聞」で利用者の日常の暮らしぶりや健康状態、外出の様子やホーム行事参加の様子など家族に報告している。又、状態変化については都度電話連絡やお手紙で毎月詳細に報告している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に職員の顔写真付の紹介が掲示され、来訪者に分かりやすいような取り組みがされている。また、家族の来訪時には、要望、不安な点など話し合われると共に家族が意見・苦情など言い表せるように意見箱を設置し、苦情受付担当者も明示されている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の離職や異動も低く、本人との馴染みの関係が築かれて利用者、家族、職員の関係も良好に感じられます。		特筆すべき点として、開設以来 職員の離職や異動は少なく、本人と馴染みの関係が築かれ安定したケアサービスの提供が実践されている。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の離職も殆ど無く、本人が安心して日常生活を送れるように馴染みの関係も築かれていると共に職員の研修や資格取得の意欲も高く、研修係が設けられてホーム内での研修会が継続的に実施されケアサービスの質の向上に取り組んでいる。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会やブロック毎の研修会、包括支援センター等の研修参加で交流する機会を設けてサービスの質を向上させていく取り組みが行われている。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、利用前には家族・本人の見学、パンフレットの案内などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら工夫している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、本人と一緒に畑作業や調理、後片づけ、掃除など過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努め買い物や散歩、大沼公園や湯の川などへのドライブなど外出や将棋、囲碁等の趣味への支援、食の嗜好の把握など支援している。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、医師、看護師など必要な関係者と話し合い具体的な介護計画を作成している。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	3か月に一度介護計画の見直しを実施し、見直し以前でも状態の変化や必要に応じてその都度、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。		現在、経過記録の記録方法を見直し改善中です。精査しながらよりよい改善ができることを期待しております。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況、その時々要望に応じて、町内の散歩やスーパーへの買い物、通院の支援など柔軟に行っている。また、市内の観光地へのドライブや外食、理美容院への送迎など時々要望にも支援されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の希望を大切にし、毎週、看護師の訪問やかかりつけ主治医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、医師・歯科医師の往診など適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、看取りの指針が明確化され、利用者・家族とも繰り返し相談しながら職員全員で共有されている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの尊厳やプライバシーについても理念に基づき、誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけがないように心掛けている。また、記録等の個人情報の扱いについては、配慮している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、買い物や散歩、調理や食事の準備、掃除の手伝い、入浴など本人の希望に沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、一緒に調理や食事の準備、後片付けをしている。また、献立の担当者は希望や嗜好を取り入れ作成し、食事が楽しみ事になるように支援している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、週2～3回を目安に入浴できるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かしながら一緒に調理や食後の後片づけ、観葉植物の水やり、畑作業、将棋や囲碁、散歩や買い物、近郊の観光地へのドライブや外食などの気晴らしの支援も行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりのその日の希望にそって、スーパーへの買い物や町内の散歩、五稜郭公園や四季の杜公園までのドライブや外食など気分転換ができるように支援されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会で定期的な研修を実施している。また、管理者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、夜間の防犯を目的とした施錠以外は鍵をかけないように取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>定期的に火災避難訓練、母体法人が主催する救急救命の講習が実施され緊急時に備えた体制が整備されている。</p>		<p>今後は、近隣からの火災に備えた準備や対応、地域住民との連携や協力が得られる働きかけを期待します。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養バランスやカロリーについては、法人の管理栄養士の助言やアドバイスを受けている。また、具体的な食事・水分摂取量が記録されている。</p>		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間や居室では、利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。ホーム内は広く、畳のある和室では、職員や利用者同士が談話できる空間になっている。ベランダには芝生が張られバーベキューや日光浴など楽しめるような場所になっていて、畑にはとうもろこし、ミニトマト等の野菜が作られ楽しみ事になっている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、テレビなどの家電製品や仏壇やソファなどの使い慣れた家具などが持ち込まれていたり、家族の写真も飾られ本人が安心して過ごせる場となっている。</p>		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。